

いっしょにおさんぽ プードルくん 白い犬の修理法（歩かない）

2022.09.18

トミー・マック

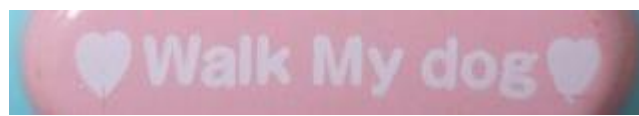
1. 外 観

おもちゃ名は、YouTube®で検索すると「いっしょにおさんぽ プードルくん 白い犬 マザーガーデン」とありますが、よく似た犬に「マザーガーデン いっしょにお散歩 もこもこプードルちゃん」があります。

違いはリード線式のリモートのロゴにあります。今回は「Walk My dog」となっており、マザーガーデンのものとは思えません？



（前回のもの）



2. 特 徴

リモートのハンドルを握りスイッチを入れるとトコトコ歩いてお散歩します。

大きい声で呼びかけたり頭や体をなでると、ワンワン鳴いたり甘え鳴きもします。しっぽをふりふりし、ランダムに反応します。動いて鳴く姿がとっても可愛いです。

3. 故 障（症状）

このような小さなワンちゃんは、落としたり踏みつけられたりして脚回りが折れ歩けなくなります。またリード線式のリモコンは、使用を繰り返すとリード線の根元に力が加わり、リード線が断線します。

今回は、**左前脚**がぐらぐらして**歩けない故障**でした。修理が終わり確認の段階で、今度は**右前脚も歩けなくな**っていました。

4. 原因と処置

分解と修理過程で分かったことは、

- ① 左前脚の支柱が折れています。 → 左脚に力が加わった。
- ② 修理の確認段階で気付いた、左前脚と右前脚の回転支点板の軸受け部の欠け → 強度的に弱い。

対応は、

- ① **左前脚の支柱**を**リブ**で補強し**接着**しました。（Dr.Shimo 修理）
- ② 修理の確認段階での気付いた、**左前脚**の回転支点板の欠けた**軸受け部**を**プラリペア**®同等品で**樹脂盛り**りし、補強のため根元にΦ0.28mmのステンレス線を巻き付け、瞬間接着剤で補強しました。
- ③ **右前脚**の回転支点板の欠けた**軸受け部**は欠けが少ないので、軸受け部にΦ0.28mmの**ステンレス線**を**巻き付け**、瞬間接着剤で補強しました。

いっしょにおさんぽ プードルくん 白い犬の修理法（歩かない）

5. 修理

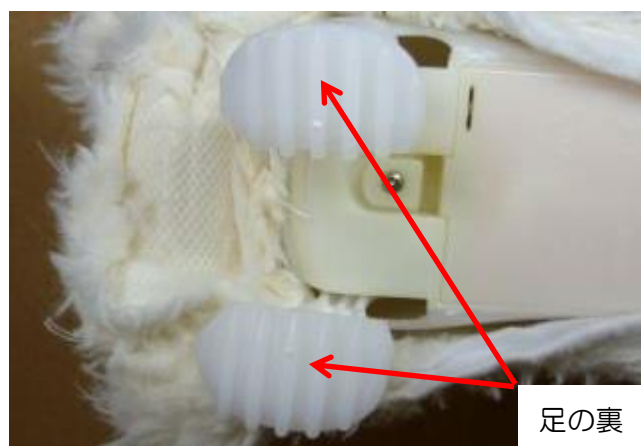
（1）ぬいぐるみの剥がし

このワンちゃんは類似のワンちゃんとは異なり、ぬいぐるみを本体に接着していません。

まずは後脚から剥がしますが、今回は布地を引っ張っても伸びが少なく剥がし難いです。仕方がないのでぬいぐるみの電池ケース隠し部の根元2か所の縫い目をリッパーで切断します。

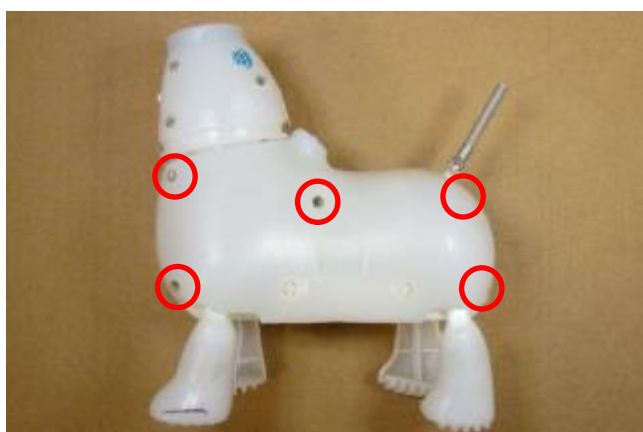


足の裏は洗濯板の様にギザギザで、ぬいぐるみが引っ掛かり脱がし難く、少し幅広のマイナスドライバーを隙間に入れ滑らして脱がします。尻尾は簡単ですが、前脚はさらに苦労して剥がします。



（2）ケースを開ける

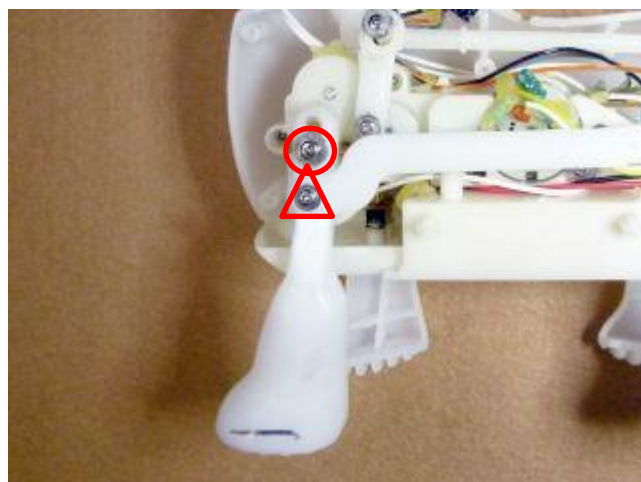
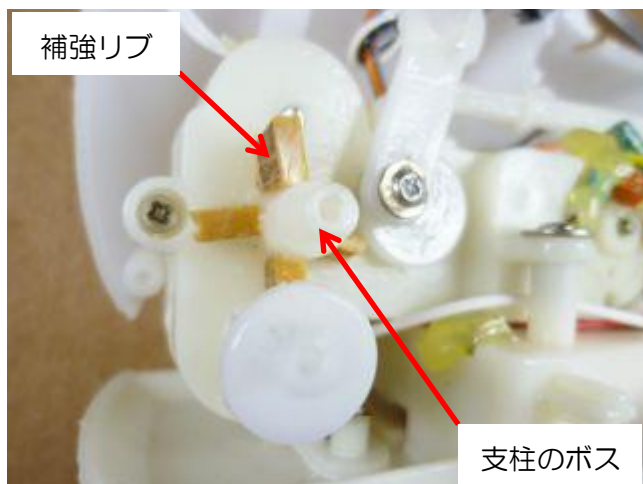
○印のネジ（タッピング 2.6X8）5本と頭の根元の1本、頭の3本を外します。



いっしょにおさんぽ プードルくん 白い犬の修理法（歩かない）

（3）脚部の修理

左前脚の○印のネジ（座付きタッピング 2.6×8）
1本と△印のネジ（座付きタッピング 2.3×5）
1本を外します。



左写真は既に修理済み状態ですが、左前脚の支柱のボスが根元から折れていました。

これが左前脚のぐらぐらする故障の原因です。



（修理）

ABS樹脂板（厚み3mm、奥行き5mm、高さ7mm）4枚を、ボスの根元に瞬間接着剤で固定しました。（Dr.Shimo 修理）



（結果）

組立てましたが、今度は右前脚が動きません。



原因は、右前脚の回転支点板の軸受け部が欠けていました。

軸受け部の端面を黒マジックインクで塗って見ると、四角軸の2面を受ける樹脂がありません。

これでは四角軸が空回りします。



いっしょにおさんぽ プードルくん 白い犬の修理法（歩かない）

（修理）

ダミーの角軸（□2.5mm）にプラリペア®同等品が接着しない様にグリースを塗布し、樹脂の欠けた部分にプラリペア®同等品を盛り、乾燥後に外周を円柱状にヤスリで整えます。補強のためΦ0.28mmのステンレス線を根元に巻き付け、瞬間接着剤で固定します。



（結果）

軸受け部が直りました。念のため左前脚の回転支点板も調べると、**軸受け部の1辺**が欠けています。円柱に角穴を開けてあるのでどうしても角部の肉厚が薄くなり、力が加わって**折れ易く**なります。



（修理）

ダミーの角軸（□2.5mm）を軸受け部に挿入し、Φ0.28mmのステンレス線を巻き付け根元で縛り、瞬間接着剤を塗布します。



これで故障の原因追及と修理を **完了** します。

いっしょにおさんぽ プードルくん 白い犬の修理法（歩かない）

（4）元に戻す

ここまでの過程を戻れば組めますので、詳細の説明を省略し、組み戻しで要注意点のみを記載します。

（a）前脚の回転支点板の組立て

左右前脚の回転支点板の支点は中心からズれているので、回転により支点に挿入した脚が前後に動き歩きます。従って、回転支点板の軸受け部の角穴と各軸の角合わせが重要です。



回転支点版を外す時、軸受け部と角軸の位置関係が正しいと分かっている段階で、それぞれに黒マジックインクでマーキングします。位置関係が分からなくなっている場合は試行錯誤して位置合わせをし、後での分解のためマーキングします。

この手間を省くと、後々に組立てで苦労します。

（b）左右前脚の組立て

角前脚を所定の位置に置き、上にある支柱にネジ（座付きタッピング 2.6×8）1本と、下のある回転支点板にネジ（座付きタッピング 2.3×5）1本で留めます。

（c）ケースのネジ留め

左右ケースを合わせ、ネジ（タッピング 2.6×8）5本と頭の根元の1本を留めます。

また頭の左右を合わせ3本で留めます。

（d）ぬいぐるみの着せ

前脚、尻尾、後脚と順に着せますが、前脚は生地 of 余裕がないので、少し幅広のマイナスドライバーを入れて滑らすか、足の裏に薄いポリ袋を敷いて滑らします。

（e）ケースのネジ留め

切り裂いたぬいぐるみの生地を縫います。



完 成

終わり